

ベトナムの児童労働

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Dinh Thi Thuy Linh)

はじめに

子供は国にとって宝であり、将来の希望である。国の将来的な成長を担うのは若い世代であるため、子供を大切にすることは当然のこととも言える。しかし現実には、親から十分な養育を受けず、困難な環境で幼い頃から労働に従事している子供がいる。ベトナムにおいて、そのような状況に置かれている子供が多いことはあまり認識されていない。

1. 児童労働に従事する子供

国際労働機関（ILO）の調査によると、世界の 18 歳未満の児童労働者数はおよそ 215 億人であり、その中で、環境が著しく悪く危険な条件で労働している子供はおよそ 115 億人となっている。こうした環境下での労働は、子供の身体及び精神に悪影響を与える。2014 年に発表された、ベトナムの児童労働に関する ILO とベトナムの労働傷病兵社会福祉省の共同調査結果は多くの人を驚かせるものとなった。

- 現在、ベトナムにおける 15 歳未満の児童労働者数は約 175 万人である（このうち、環境が著しく悪く危険な条件で労働している子供は約 135 万人と言われている）。この約 175 万人という数字はベトナムの子供総数（5 歳～17 歳）の 10% に相当する。
- 子供の多くは 10 歳から 14 歳頃に働き始め、15 歳から 17 歳の子供では、実に 63% が働いている。
- 15 歳未満の児童労働者 175 万人のうち、週に平均 6~24 時間労働している子供は約 40%、週 42 時間以上労働している子供は約 33% となっている。特に縫製工場や食品加工工場等において、子供は 1 日 8 時間から、時には 12 時間以上働かなければならないことがある。
- 15 歳未満の児童労働者 175 万人のうち、85% は都市郊外、農村、山岳地帯に住んでいる。そのうち、学校に通っている子供は約 45%、学校を辞めた子供は 52%、全く学校で勉強したことがない子供は 3% である。なお、環境が著しく悪く危険な条件で働

いている子供は約 85%で、そのうち 18%が小学生、55%が中学生、27%が高校生となっている。

2.児童労働の要因

児童労働の要因は家族、社会の児童労働に対する認識が大きな影響を与えていると考えている。現状、家計を助けるために親が子供を労働させるケースが多く存在する。また、親だけではなく、雇用主にとっても児童労働は普通のことで、それほど悪いことではないとの認識を持っている。この考え方は、ベトナム政府が掲げる「子供の養育は家族の重要な責任」という思想に反しており、国民の認識の改善が必要である。

また、地方の貧困も 1 つの要因であると考えられる。現在においても児童労働は農村や山岳地帯では一般的である。それらの地域には様々な少数民族が住んでいるが、自然条件、経済条件が悪く、就業機会が少ないため、家計のために大人だけではなく子供も働かなければならない。それにより、子供は勉強する機会を奪われるため、高い賃金の仕事に就く機会を失い、単純労働に従事することになる。そして、児童労働者は、その後、成人しても生活を改善できず、その子供も連鎖的に労働に従事させられる。

一方、ハノイ市やホーチミン市といった大都市での児童労働の要因は、工業化と近代化の影響がある。貧しい地方の農村出身の子供は大都市へ仕事の機会を求めて出稼ぎに来るケースが多い。彼らは、工場労働、飲食店や商店の店番、家政婦、くじ売りといった仕事に就く事が多いが、雇用者から暴力などひどい扱いを受けることもあり、結果として、乞食や泥棒になってしまう子供もいる。

3.児童労働の解決策

ベトナムは児童労働を削減することを目標としているが、それは容易なことではない。改善に向けては適切な解決策を実施することが重要である。

まず、社会、家族、子供が正しい認識を持てるよう、幼少期から子供の権利及び子供の保護に関する知識を教えることが必要である。例えば、メディアを通して伝達する方法は有効であると考えられる。また、幼稚園から大学院といった教育機関以外の地方行政機関による教育も効果的と言われている。

次に、貧しい国民の生活の質を改善することが必要である。児童労働の背景には、貧困があるが、貧困の原因は安定した収入がないこと、十分な教育を受けていないこと、家族の人数が多いこと等である。これを解決するには、すでに全国で実施されているボランテ

ボランティア活動が有効と考えられる。この活動は、物品の寄付や、子供向けの教育プログラムの実施、大人向けの専門的知識及び手工芸スキルの講習等である。この活動への参加は無料なので、経済的に貧しい国民でも参加することができる。ボランティア活動以外に、政府は農村、山岳地域のインフラ整備、低価格住宅の建設、低コストの保険・教育プログラムを政策として実施している。

終わりに

子供の健やかな成長のために、子供が親から大切に育てられ、学ぶ機会を享受し、将来に希望を持つことは重要である。しかし、児童労働によってそのような機会が奪われている子供がいることを忘れてはならない。雇用者は法律を遵守し、また、社会・家族が一緒になって子供の権利を保護することが必要である。児童労働問題を解決することは容易ではないが、国民が正しい認識を持つとともに、国をあげて国民生活の質を改善することができれば、当問題は少しずつ改善されるだろう。

参考文献

- 『児童労働調査報告書』、
ILO・ベトナム労働傷病兵社会福祉省・ベトナム統計総局発行、2014年3月
- 国際労働機関（ILO）ホームページ <http://www.ilo.org/hanoi/lang--vi/index.htm>